

2018年(平成30年)3月期 主要な質問に対する回答

Q: 2017年度の実績について総括していただけますか？

A: 2017年度は、第3四半期に予想した数値を売上収益と各利益項目で上回りました。売上収益の増加は建設機械や部品サービスが想定を上回ったことによります。利益面の増加は販売量増加と部品サービス・操業度の改善・地域構成差の改善等によります。

財務面では、たな卸資産手持日数を15日分改善し、正味運転資金の手持ち日数も26日短縮して125日としました。キャッシュ・フローについては、Bradken社の100%子会社化の支出が176億円あったもののフリーキャッシュフローを470億円確保しました。

Q: 2018年度見通しについて総括していただけますか？

A: 2018年度の業績見通しは、2017年度の実績レートより円高の予想為替レートとしたことにより、売上収益から当期利益まで全体的に減少という計画になっています。事業環境は、保守的な観点でも全世界の油圧ショベル需要は4%増、マイニング機械需要は10%増加を見込んでおり、販売物量も増加を見込んでいます。2017年度実績レートベースですと、売上収益は5%以上増加、調整後営業利益は約2割増加です。中期経営計画にも掲げている通り、バリューチェーンの深化を図り、経営効率を上げ、先進技術開発やIoT関連の研究開発を進めますので、施策を遂行する為に必要な投資も、売上収益増加率とのバランスをとりながらおこなって参ります。

Q: 建機の需要環境の見方について教えてください

A: 当社の主力製品である油圧ショベルの世界需要は、2017年度には中近東以外前年比増、世界計で25%増加したとみています。2018年度については、日本・欧州・ロシア以外は増加傾向が続き保守的な観点でも4%増加するものとみています。前年比増加率は小さいですが、過去最高水準であった2010年度の需要レベルに近づく見込みです。販売物量もこれに伴い増加する見込みです。

Q: マイニング機械の需要環境の見方について教えてください

A: 超大型油圧ショベルとマイニング用ダンプトラックについては、2017年度は前年比74%と大幅増加し、2018年度も増加傾向が続くとみています。そのうち、マイニング鉱山向けでない100トンクラス超大型油圧ショベルは既に2015年度から増加してきており、そのまま高い水準が2018年度も継続するとみています。またマイニング鉱山向け250トン以上の超大型ショベルとダンプトラックについては、2017年度に増加傾向が顕著となり、2018年度も継続的に増加するものとみています。当社の注力するマイニング鉱山向け超大型ショベルとダンプトラックについては、引合・受注が活発化しています。